

Webcam extension Pak

for Windows



ハイライト

Webcam extension Pak は、Desktop On-Call Version 4 のための拡張機能パックです。カメラ映像を Web ブラウザーで見ることができる機能とカメラ映像および、PC 画面を i モード携帯電話から見ることができる機能を Desktop On-Call Version 4 に追加します。

ホスト PC をリモート・コントロールする時、周囲の状況も把握でき非常に便利です。また、ホスト PC の画面を複数のユーザーが同時に見ることができるオプションもあります。

Desktop On-Call Version 4 のライセンスを持っているユーザーは無料でホームページからダウンロードすることができます。当拡張機能パックが利用できるのは、ホスト PC が Windows 98、Windows 98SE、Windows ME そして Windows 2000 で DirectX 8 がインストールされている必要があります。

第 1.0 版 2001 年 4 月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

©Copyright IBM Corp. 2001. All rights reserved.

目次

ハイライト	1
機能	4
カメラ・サポート	4
Iモード携帯電話サポート	4
スクリーン・ビュー機能	4
稼働環境	5
ホスト PC	5
CPU	5
Memory	5
Operating System	5
Network	5
ゲスト PC	5
CPU	5
Memory	5
ゲスト Iモード携帯電話	5
カメラ	6
稼働確認済みカメラおよび接続構成	6
インストール	7
インストール	7
アンインストール	9
使用方法	10
カメラ画像を WEB ブラウザーから見る	10
「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を起動する	10
Web ブラウザーからアクセスする	11
リモート・コントロール・ウィンドウからカメラ画像を起動する	13
リフレッシュ・レートを変更する	14
ホスト PC のスクリーンを見る	14
ホスト PC で「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を起動する	14
Web ブラウザーからアクセスする	15
リフレッシュ・レートを変更する	17
Iモード携帯電話でカメラ画像を見る	18
ホスト PC で「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を起動する	18

i モード携帯電話からアクセスしカメラ画像を見る	18
I モード携帯電話でホスト PC の画面を見る	19
ホスト PC で「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を起動する	20
i モード携帯電話からアクセスしホスト PC スクリーンを見る	20
「DESKTOP ON-CALL キャプチャー・エンジン」の操作方法	22
メニュー：ファイル(F)	22
メニュー：デバイス(D)	22
メニュー：プロパティ(P)	22
メニュー：ヘルプ(H)	22
技術情報	23
DirectX について	23
スクリーン・ビューのちらつき	23
メルコ キャプチャーボード CBP-AV ご使用の場合	24
i モード使用時のパケット料金について	24
特記事項	25
商標	25

機能

カメラ・サポート

Windows にイメージング・デバイスとして認識されているカメラ映像を Web ブラウザーで見ることができます。

i モード携帯電話サポート

カメラ静止画を i モード携帯電話のブラウザーで見ることができます。
ホスト PC の画面の一部を見ることができます。

注: i モード携帯電話からホスト PC をアクセスするためには、i モードからアクセス可能な IP アドレスがホスト PC に割り振られている必要があります。確かめるには、ホスト PC で DOS プロンプトを開き (Windows 98/ME の場合) WINIPCFG コマンドか (Windows 2000 の場合) IPCONFIG コマンドで IP アドレスを調べます。i モード携帯電話の URL 入力画面からその IP アドレスを入力し「Desktop On-Call i モードサポート」の画面が出れば OK です。

スクリーン・ビュー機能

ホスト PC の画面を見ることができます。映像はフル・カラーで、複数の人が同時にアクセスすることができます。

稼働環境

ホスト PC

CPU

Pentium II 300MHz 以上(Pentium III 以上を推奨)

Memory

64MB 以上(128MB 以上を推奨)

Operating System

Windows 98

Windows 98SE

Windows ME

Windows 2000

DirectX 8 がインストールされている必要があります。

注: DirectXは、マイクロソフトのホームページからダウンロードできます。詳しくは「技術情報」の章を参照してください。

Network

i モードからアクセスする場合は、i モードからアクセス可能な IP アドレスがホスト PC に割り振られている必要があります。

ゲスト PC

CPU

Pentium II 300MHz 以上(Pentium III 以上を推奨)

Memory

64MB 以上(128MB 以上を推奨)

ゲスト i モード携帯電話

503i

注: 503i で主に採用されている画面サイズ 120x130 を想定して設計されています。基本的に、生成された画像ファイルを i モード・ブラウザで見る方法をとっていますので、他の機種でも見ることができる可能性があります。

カメラ

Windows にイメージング・デバイス*として認識されているカメラ。

注：カメラはPC 一台に一台のみ接続できます。

主に以下の 3 種類の接続方法があります。

USB 接続

IEEE1394 カードあるいは、I-link ポート接続

ビデオ・キャプチャーカード接続

稼動確認済みカメラおよび接続構成

USB 接続

CREATIVE LAB VIDEO BLASTER WEBCAM GO Plus PN:VBWCGOP

INTEL PC Camera Pack USB

IBM UltraPort Camera II

IEEE1394 カードあるいは、I-link ポート接続

Digital Video Camera

SONY Digital HandyCam DCR-TRV20

IEEE1394 Card

RATOC System, Inc. IEEE1394 CardBus PC Card REX-CBFW1-L

RATOC System, Inc. IEEE1394 PCI Board REX-PFW2WDV

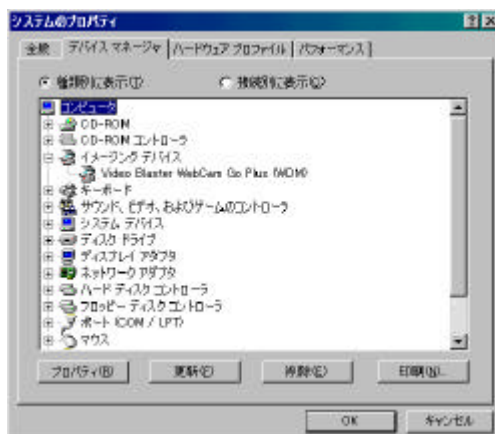
ビデオ・キャプチャーカード接続

IOData Video Capture Board GV-BCTV4/PCI

IOData Video Capture GV-BCTV3/USB

テレビに出力することができるデジタル・カメラはビデオ・キャプチャーカードに接続して使用することができます。

*: イメージング デバイスとして認識されているカメラは、コントロール・パネル「システム」のデバイス マネージャにイメージング デバイスとしてリストされています。



インストール



webpak.exe を Desktop On-Call のホームページからダウンロードしてください。

(<http://www.ibm.com/jp/pspiinfo/iavadesk>)

インストールを開始する前に、以下の手順で Desktop On-Call を停止してください。

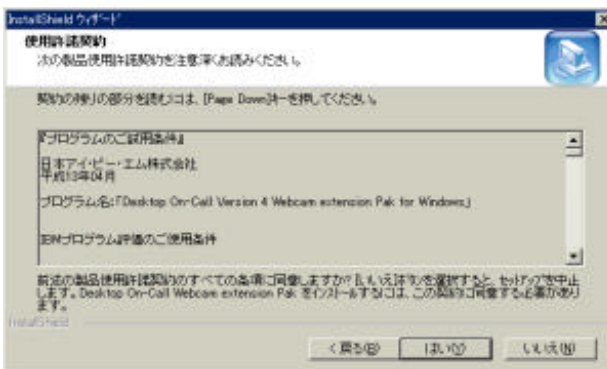
1. 「スタート」 - 「プログラム」 - 「IBM PC リモコン」 - 「Desktop On-Call PC リモコン」を選択してください。
2. 「接続拒否(R)」をクリックしてください。これで休止中の状態になります。
3. 「閉じる(X)」をクリックしてパネルを閉じてください。

インストール

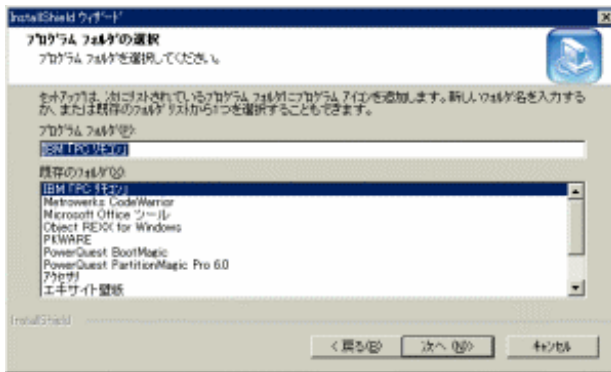
1. webpak.exe を実行する。



2. 「次へ」を選択してください。

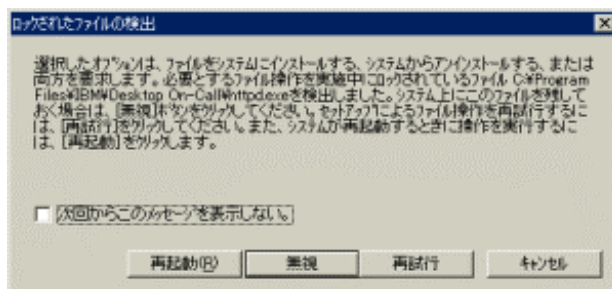


3. ご使用条件に同意いただける場合は「はい」を選択してください。同意いただけない場合は「いいえ」を選択してください、インストールは中止されます。

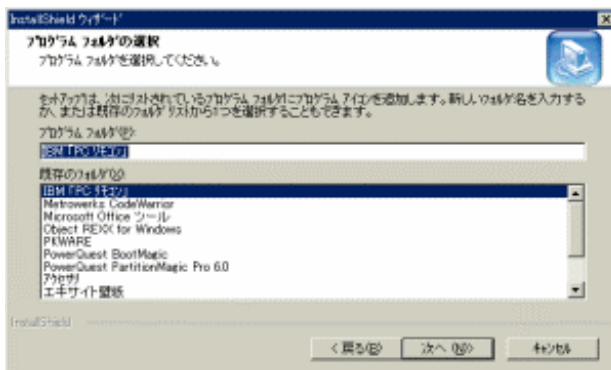


4. フォルダを選択し「次へ」を選択してください。

注：ここで「ロックされたファイルの検出」パネルが表示された場合は、



「スタート」 - 「プログラム」 - 「IBM PC リモコン」 - 「Desktop On-Call PC リモコン」を選択し、Desktop On-Call パネルで「接続拒否」を押してから、「ロックされたファイルの検出」パネルで「再試行」を選択してください。



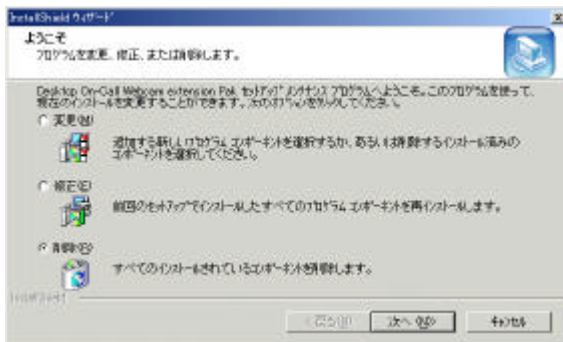
5. 「完了」を選択してください。

これでインストールは完了しました。以下の手順で Desktop On-Call をスタートさせてください。

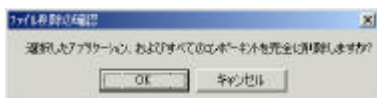
1. 「スタート」 - 「プログラム」 - 「IBM PC リモコン」 - 「Desktop On-Call PC リモコン」を選択してください。
2. 「接続許可(A)」をクリックしてください。これで待機中の状態になります。
3. 「閉じる(X)」をクリックしてパネルを閉じてください。

アンインストール

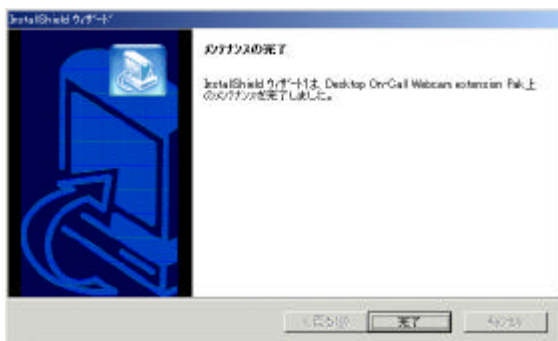
1. webpak.exe を実行してください。あるいは、コントロール・パネルの「アプリケーションの追加と削除」から Desktop On-Call Webcam extension Pak を選択してください。



2. 「削除」を選択し、「次へ」を選択してください。



3. 「OK」を選択してください。



これでアンインストールは完了です。

使用方法

カメラ画像を Web ブラウザーから見る

カメラ画像を Web ブラウザーから見るカメラ画像は「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」が DirectX 経由で画像を作成し、それを Web ブラウザーで表示することで実現しています。ホスト PC に正しくカメラがセットアップされていれば、「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」はカメラを認識し映像を表示します。

Desktop On-Call キャプチャー・エンジンは、タイマーにセットされた秒おきに、カメラ映像をファイルに保管します。Web ブラウザーから、保管されたカメラ画像ファイルを一定時間ごとに再ロードし見るかたちになります。

「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を起動する

1. 「スタート」 - 「プログラム」 - 「IBM PC リモコン」 - 「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を選択。
2. カメラが正しく認識されていて、カメラが選択されている場合は、しばらくすると画像が映し出されます。カメラが選択されていない場合はメニューのファイル - カメラを選択してください。



注：メニューのデバイスを選択しても何もデバイスが表示されない場合は、カメラが正しく認識されていません。カメラあるいは、キャプチャ・デバイスのマニュアルを参照してカメラを正しくセットアップしてください。

3. メニューのプロパティ - カメラプロパティを選択し、リフレッシュタイマー（何秒ごとに画像を更新するか）時間を設定してください。



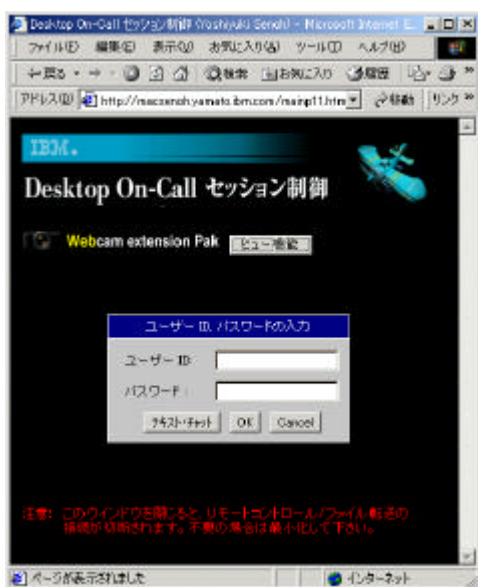
省略値は、5 秒です。

Web ブラウザーからアクセスする

1. Web ブラウザーを起動します。
2. ホスト PC の IP アドレスを入力します。

注：このとき、ホスト PC の IP アドレスに続いて「/ext.htm」と入力すれば以下のパネルをスキップして、ユーザー ID、パスワードを要求するパネルが表示されます。

注：Web ブラウザーによっては、白地にユーザー ID、パスワードを入力する画面になる場合があります。これは、最初の Web ブラウザー接続試験の結果 LiveConnect などのサポートが十分でないため基本コネクモードが選択されたことを意味しています。この場合、Webcam extension Pak の画面に行くにはホスト PC の IP アドレスに続いて「/ext.htm」と入力してください。

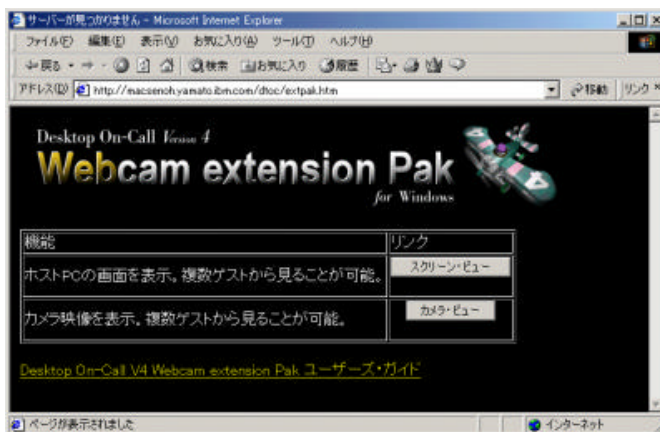


3. 「ビュー機能」をクリックします。



4. ユーザー ID、パスワード入力を求めるパネルが表示されます。Desktop On-Call のユーザー ID、パスワードを入力します。

注：「セッション制御ウィンドウを閉じますか」のパネルがでますので、「はい」を選択してください。

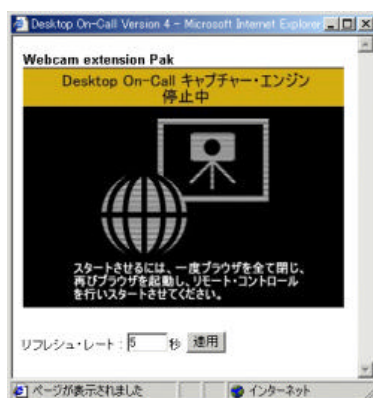


5. カメラ・ビューをクリックしてください。カメラ画像ウィンドウが開き画像が映ります。



注：ネットワーク速度が遅く、画像が表示し終わる前に、次の画面の再ロードがかかってしまう場合は、リフレッシュ・レートを入力し「適用」ボタンを選択してください。

注：ホスト PC キャプチャ・エンジンが停止している場合は、以下の画面になります。



リモート・コントロール・ウィンドウからカメラ画像を起動する

リモート・コントロール・ウィンドウからカメラ画像を表示するウィンドウを起動することができます。リモート・コントロール・ウィンドウ右上のカメラボタンをクリックしてください。カメラ画像ウィンドウが開き画像が映ります。

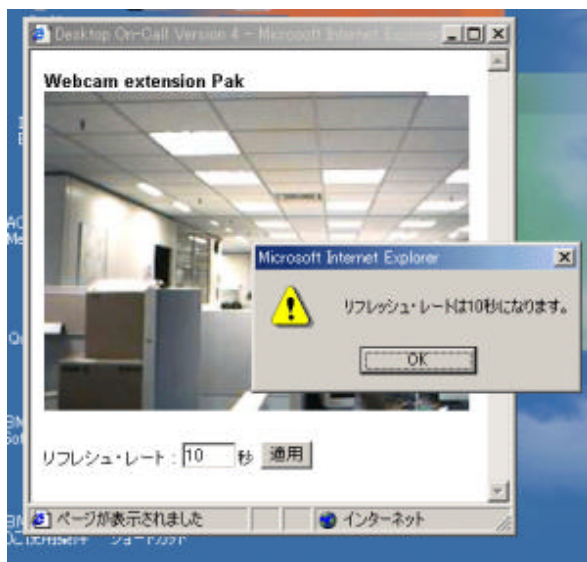
注：基本コネクトモードで接続した場合は「カメラ・ビュー」ボタンは表示されません。この場合、Webcam extension Pak の画面に行くにはホスト PC の IP アドレスに続いて「/ext.htm」と入力してください。



リフレッシュ・レートを変更する

ネットワークスピードが遅い場合は、画像が完全にダウンロードし終わらないうちに画像を更新しようとして画像が表示されない場合があります。その場合は、リフレッシュ・レートを長め（例えば、10 秒あるいは 30 秒）に以下の要領で設定してください。

1. リフレッシュ・レート入力フィールドに秒数を入力してください。



2. 「適用」を選択してください。
3. 「OK」を選択してください。

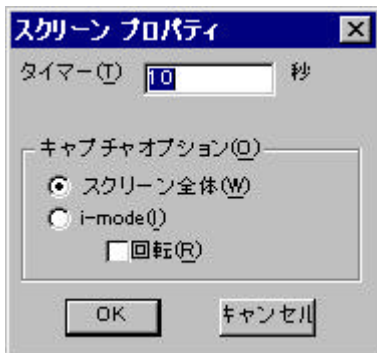
ホスト PC のスクリーンを見る

ホスト PC の画面を Web ブラウザーから見る場合も、「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」が大きな役割を果たしています。

Desktop On-Call キャプチャー・エンジンは、スクリーン・プロパティのタイマーにセットされた秒おきに、ホスト PC の画面をファイルに保管します。Web ブラウザーから、保管されたホスト PC の画面ファイルを一定時間ごとに再ロードし見るかたちになります。

ホスト PC で「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を起動する

1. 「スタート」 - 「プログラム」 - 「IBM PC リモコン」 - 「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を選択。
2. メニューのファイル - スクリーンを選択してください。
3. メニューのプロパティ - スクリーンプロパティを選択し、リフレッシュタイマー（何秒ごとに画像を更新するか）時間とキャプチャオプションで全画面を選択してください。タイマーの省略値は、60 秒です。



注：キャプチャオプションでスクリーン全体と i-mode を同時に選択することはできません。

Web ブラウザーからアクセスする

1. Web ブラウザーを起動します。
2. ホスト PC の IP アドレスを入力します。



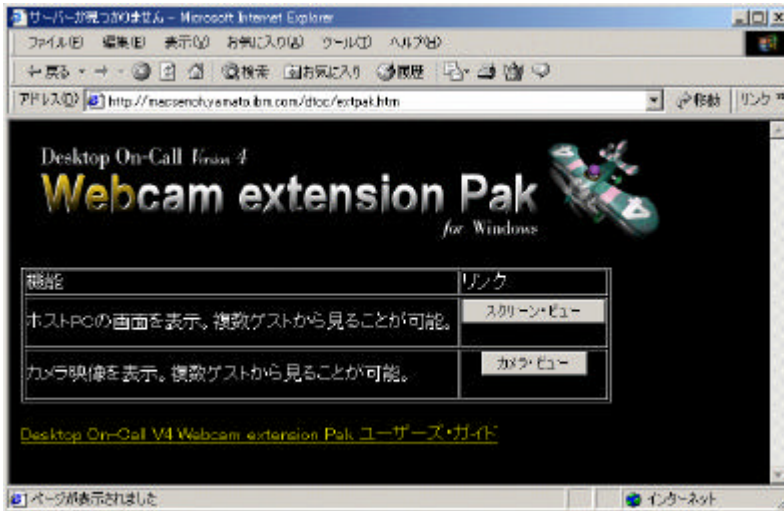
3. 「ビュー機能」をクリックします。



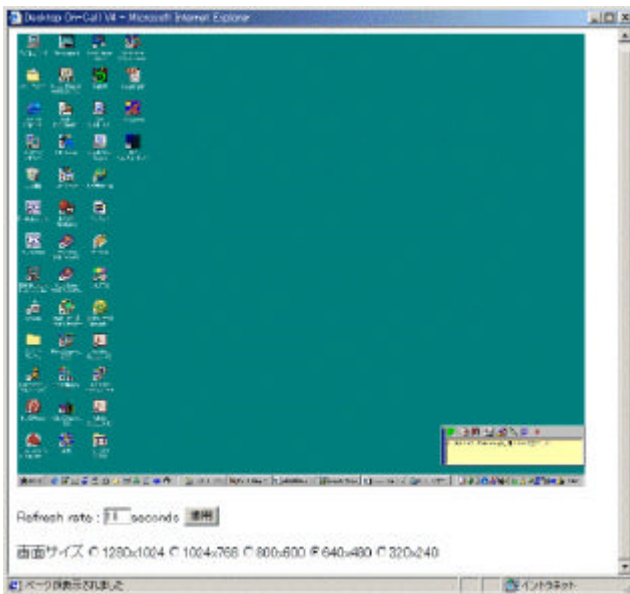
4. ユーザー ID、パスワード入力を求めるパネルが表示されます。Desktop On-Call のユーザー ID、パスワードを入力します。

注：「セッション制御ウィンドウを閉じますか」のパネルがでますので、「はい」を選択してください

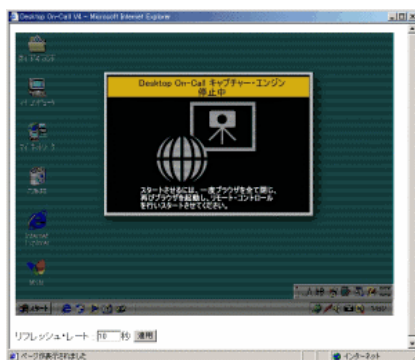
い



5. スクリーン・ビューをクリックしてください。スクリーン画像ウィンドウが開き画像が映ります。



注：ホスト PC キャプチャー・エンジンが停止している場合は、以下の画面になります。



リフレッシュ・レートを変更する

ネットワークスピードが遅い場合は、画像が完全にダウンロードし終わらないうちに画像を更新しようとして画像が表示されない場合があります。その場合は、リフレッシュ・レートを長め（例えば、10 秒あるいは 30 秒）に以下の要領で設定してください。

1. リフレッシュ・レート入力フィールドに秒数を入力してください。
2. 「適用」を選択してください。

iモード携帯電話でカメラ画像を見る

カメラ画像を i モード携帯電話から見る場合も、「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」がタイマーにセットされた秒おきに保管した画像ファイルを i モード携帯電話の Web ブラウザーから見るかたちになります。

注: iモード携帯電話からホスト PC をアクセスするためには、iモードからアクセス可能な IP アドレスがホスト PC に割り振られている必要があります。確かめるには、ホスト PC で DOS プロンプトを開き (Windows 98/ME の場合)WINIPCFG コマンドか (Windows 2000 の場合)IPCONFIG コマンドで IP アドレスを調べます。iモード携帯電話の URL 入力画面からその IP アドレスを入力し「Desktop On-Call iモードサポート」の画面が出れば OK です。

ホスト PC で「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を起動する

1. 「スタート」 - 「プログラム」 - 「IBM PC リモコン」 - 「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を選択。
2. メニューのファイル - カメラを選択してください。
3. メニューのプロパティ - カメラプロパティを選択し、リフレッシュタイマー（何秒ごとに画像を更新するか）時間を入力してください。タイマーの省略値は、5 秒です。

iモード携帯電話からアクセスしカメラ画像を見る

4. iモード携帯電話の URL 入力画面からホスト PC のアドレスを入力します。



5. 「ここ」を選択します。



6. 「カメラ」を選択します。
7. ユーザーID、パスワードを入力します。

iモード携帯電話からパスワードを入力する場合、数字でないと入力しにくいので、iモード携帯電話専用のIDをDesktop On-Callに追加しておき、パスワードを数字にしておくことをお勧

めします。

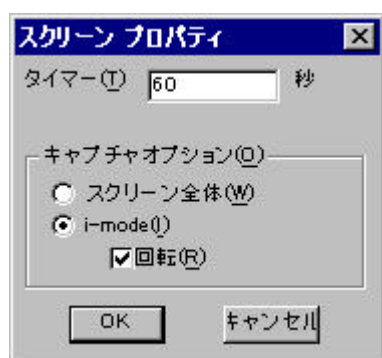


更新すれば、新しい画像が表示されます。

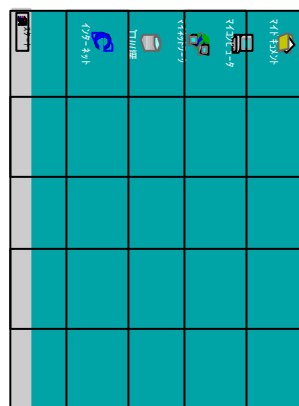
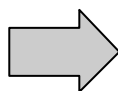
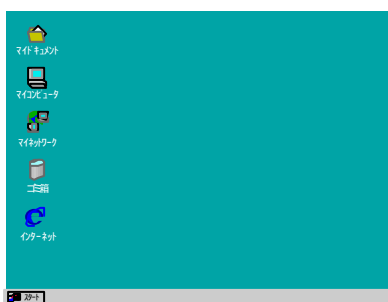
iモード携帯電話でホスト PC の画面を見る

ホスト PC の画面を i モード携帯電話から見る場合も、「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」がタイマーにセットされた秒おきに保管したホスト PC 画面の断片画像ファイルを i モード携帯電話の Web ブラウザーから見るかたちになります。

「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」のスクリーン プロパティ「キャプチャオプション(O)」で i-mode(I) を選択してください。また回転もチェックしてください。(チェックしない場合は縦スクロールになります。)

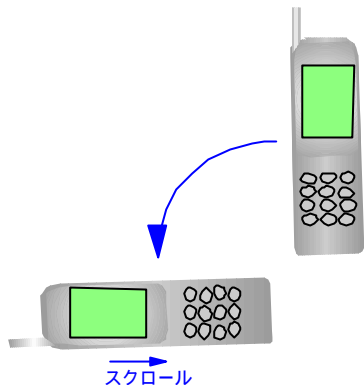


このようにプロパティを設定すると「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」はスクリーン画面を右 90° 回転させて、5x5 に切った画像の断片ファイルを作成します。



一つ一つの断片は 120x160 の大きさと、スクリーンの大きさが 800x600 の場合は実寸で表示されます。スクリーンの大きさが 800x600 より大きい場合は縮小されます。

i モード携帯電話で画面を見るときは左 90° 回転させれば見やすくなります。



注: i モード携帯電話からホスト PC をアクセスするためには、i モードからアクセス可能な IP アドレスがホスト PC に割り振られている必要があります。確かめるには、ホスト PC で DOS プロンプトを開き (Windows 98/ME の場合) WINIPCFG コマンドか (Windows 2000 の場合) IPCONFIG コマンドで IP アドレスを調べます。i モード携帯電話の URL 入力画面からその IP アドレスを入力し「Desktop On-Call i モードサポート」の画面が出れば OK です。

次の手順で操作してください。

ホスト PC で「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を起動する

1. 「スタート」 - 「プログラム」 - 「IBM PC リモコン」 - 「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」を選択。
2. メニューのファイル - スクリーンを選択してください。
3. メニューのプロパティ - スクリーンプロパティを選択し、リフレッシュタイマー (何秒ごとに画像を更新するか) 時間とキャプチャオプションで「i-mode」を選択してください。タイマーの省略値は、60 秒です。

i モード携帯電話からアクセスしホスト PC スクリーンを見る

4. i モード携帯電話の URL 入力画面からホスト PC のアドレスを入力します。



5. 「ここ」を選択します。



6. 「スクリーン・ビュー」を選択します。
7. ユーザーID、パスワードを入力します。

i モード携帯電話からパスワードを入力する場合、数字でないと入力しにくいので、i モード携帯電話専用のID を Desktop On-Call に追加しておき、パスワードを数字にしておくことをお勧めします。



画面の下の は、この画面全体を5分割したそれぞれの部分に相当します。みたい部分に相当する番号を選択してください。その部分が表示されます。

例えば[1]を押すと以下の部分が見え、スクロールダウンすれば、右の部分が見えます。



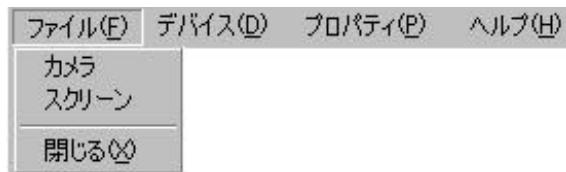
注：ホストPCのスクリーン画面が複雑な場合、GIF ファイルのサイズが大きくなり、i モードブラウザの読み込み限界サイズを超えた場合、「読み込みバッファを越えました」旨のメッセージがでて横一行分読み込めないことがあります。この場合以下の様な状態となります。

画面横一列は、5枚の画像が連なっていて、それぞれ画像1枚ずつのページにリンクが張られていますので、読み込みが不完全だった画像を選択すると、その画像1枚だけを見ることが出来ます。



「Desktop On-Call キャプチャー・エンジン」の操作方法

メニュー：ファイル(F)



「カメラ」を選択するとチェックが付き、カメラが活動状態になり映像が映ります。

「スクリーン」を選択するとチェックが付き、スクリーンが活動状態になり

「閉じる」を選択すると、プログラムを終了します。

メニュー：デバイス(D)



デバイスのサブメニューとして表示されているものは、Windows がイメージング・デバイスとして認識しているデバイスドライバが表示をしています。

この例では、クリエイティブメディア社製、Video Blaster WebCam Go Plus がインストールされています。

メニュー：プロパティ(P)

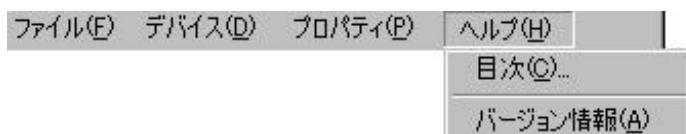


「カメラプロパティ」を選択すると、撮影間隔を設定できます。

「スクリーン・プロパティ」を選択すると、スクリーン・キャプチャ間隔と、iモードからアクセスするか、あるいは、Web ブラウザーからアクセスするかを選択するキャプチャー・オプションを設定できます。

「スクリーン・プロパティ」より下のサブメニューはデバイスドライバが表示しています。

メニュー：ヘルプ(H)

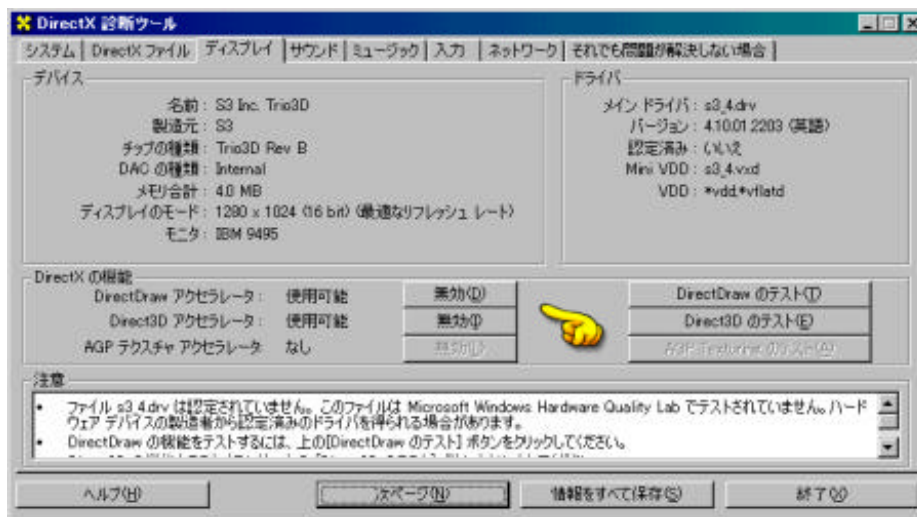


「目次」を選択すると、ヘルプが表示されます。

技術情報

DirectX について

- Webcam extension Pak がサポートする DirectX は DirectX 8 です。
 - Windows ME には、Direct X 7.1 が入っており、Webcam extension Pak は Direct X 7.1 でも正しく動作することが検証されていますので、Windows ME の場合は、そのままお使いいただけます。
 - 2001年4月現在、マイクロソフトのサイトから、DirectX 8a がダウンロード可能です。DirectX 8a でも正しく動作することが検証されています。
 - 他のアプリケーションが DirectX を使用している場合、同時に Webcam extension Pak を使うとエラーが出る場合がありますので、同時使用は避けてください。
 - リモート・コントロール画面に Desktop On-Call キャプチャー・エンジンに映し出されている画像が映らず、黒く見えることがあります。これは、DirectDraw アクセレレータを使用している場合にそうなります。以下の手順で DirectDraw アクセレレータを無効にすれば画像がリモートコントロール画面にも映るようになります。
1. 「スタート」 - 「ファイル名を指定して実行」を選択
 2. 「dxdiag」と入力し実行
 3. 以下のパネルの DirectDraw アクセレレータを無効にしてください。



スクリーン・ビューのちらつき

スクリーン・ビューで画面がアップデートされる際、一端白くなり再び描画されることでちらつくことがあります。これは、IE の 5.0 以前のバージョンまたは、ゲスト PC の CPU が Pentium II 相当以下の場合に起こりやすいことが報告されています。IE 5.5 以降のバージョン、あるいはゲスト PC の CPU が Pentium III 相当以上をお使いになることをお勧めします。

メルコ キャプチャーボード CBP-AV ご使用の場合

Windows 98/Me 上の試験でキャプチャー・エンジン起動時にエラーが報告されております。Windows 2000 上での使用をおすすめします。

i モード使用時のパケット料金について

2001 年 4 月現在、NTT DoCoMo の i モードデータ通信料金は、1 パケット(128byte)あたり、0.3 円です。

カメラの画像を 1 回見た場合、画像のサイズは約 6K バイト程(画像によって多少サイズは異なります)で約 14 円かかります。スクリーン・ビューでスクリーン横一列見た場合は、約 13K(画像によって多少サイズは異なります)で約 30 円かかります。

AIX、Solaris、Linux の Netscape でビュー機能を利用する場合

AIX、Solaris、Linux の Netscape でビュー機能を利用する場合、ログイン画面で「ビュー機能」ボタンを押した時、セッション制御パネルを閉じるためのパネルが表示されませんが、Netscape のバージョンによっては、そのタイミングが逆になったり、字化けが起きたりすることがあります。それを避けるために、URL を入力する際ホスト PC の IP アドレスに続いて「/ext.htm」と入力してビュー機能を利用してください。

特記事項

本書で言及される IBM 製品、プログラム、またはサービスのなかには、日本で発売されていないものも含まれます。このことは、弊社がこれらの IBM 製品、プログラム、またはサービスを、日本で発売する意図があることを示すものではありません。

本書で、IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及している部分があっても、該当製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、又はサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらの製品、プログラム、またはサービスの評価および検査はお客様の責任で行っていただきます。

本書で解説される主題について IBM がその特許権（特許出願を含む）を所有していることがあります。本書は、これらの特許権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権の照会は、下記の宛先に書面にて行ってください。

〒106-8711

東京都港区六本木 3-2-31

IBM ワールド アジア トレードコーポレーション
コマーシャル リレーションズ

商標

IBM, Aptiva, ThinkPad, OS/2, Desktop On-Call, PC リモコン、ホームページ・ビルダーは、IBM Corp.(米国)の商標です。

Java は、Sun Microsystems, Inc(米国)の商標です。

Apple, Mac, Macintosh, PowerMac は、Apple Computer Inc, (米国)の商標です。

UNIX は、X/Open Company Limited がライセンスしている米国ならびに他の国における商標です。

Microsoft, Windows, Windows NT は、Microsoft Corp.(米国)の商標です。

i モードは、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

製品名または会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

この「プログラム」は、RSA Data Security, Inc. からライセンスされた機密保護技術を含んでいます。この技術は、以下の著作権表示とともに同社からライセンスされたソフトウェアにより提供されます。

Copyright (c) 1998 RSA Data Security, Inc. All Rights Reserved.

本製品は NTT ドコモとは何ら関係ありません。